

4月から第二中学校区（モデル校区）に 小中一貫教育を導入します

【詳細】 学校教育課 ☎ 381-1058

市では、学校と地域が目標を共有して、子どもたちの確かな育ちと学びにつなげていく『小中連携教育』を進めてきました。

市の教育をより一層充実させるため、令和4年度に第二中学校区（モデル校区）に、令和5年度には全ての市立小・中学校で『小中一貫教育』を導入します。

学校・家庭・地域が「中学校卒業時点での目指す子ども像」を共有し、中学校区で基本的な指導方法を統一するなど実現に向けた取り組みを行います。

<モデル校区の取り組み>



小学生の中学校体験登校



小学生の部活動体験



小・中・地域 合同清掃

小中一貫教育でも、小学校から中学校まで一つの校舎で学ぶ「義務教育学校」は導入せず、小学校を卒業し中学校へ進学することには変わりません。

期待される主な効果

● 学習指導の効果向上

義務教育9年間の見通しを明らかにした指導計画に沿って指導を行うことで、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図ります。

● 異学年交流の促進

異学年交流を通じて、社会性（思いやりの心、コミュニケーション能力など）やリーダーシップが育成されます。

● 教職員の意識改革

全ての教職員が9年間を通して子どもを育てる意識をもって指導にあたるため、授業改善が図られます。

● 生徒指導の効果向上

生活規律（学校生活でのきまり、ルール）の変化を小さくすることで、環境の変化による中1ギャップを緩和します。

【小中連携教育】

小中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育。

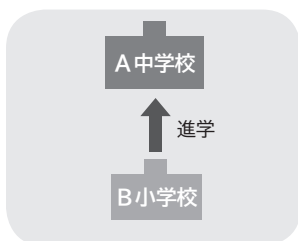
【小中一貫教育】

中学校区ごとに目指す子ども像の共有と、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的教育を目指す教育。

導入 形態

【施設隣接型】

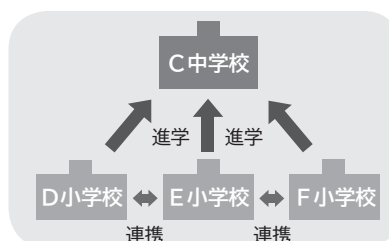
第二中学校区



同一小学校から同一中学校へ

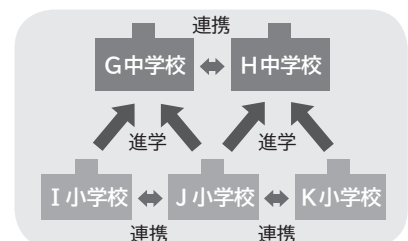
【施設分離型】

野幌中、大麻中、大麻東中、
江陽中、中央中学校区



複数小学校から同一中学校へ

第一中、第三中学校区
（第一小学校が分散進学）



複数中学校へ進学する小学校がある

◎ 導入までのスケジュール

平成 29 年度 ～令和 3 年度

〔モデル校〕第二小学校・
第二中学校による取り組み

令和 4 年度

〔第 1 期〕
第二中学校区に導入

令和 5 年度

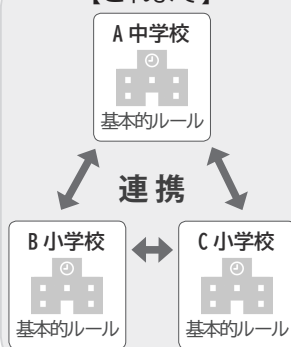
〔第 2 期〕
市内全校に導入

◎ 小中一貫教育 Q & A

Q 小中一貫教育になると何が変わるの？

A 「目指す子ども像」を中学校区で共有し、それに向かって学校・地域・家庭が協力しながら子どもたちを育てます。また、学校ごとに決めている学習や生活の基本的なルールを中学校区で揃え、一貫した指導を行います。

【これまで】



【これから】



Q 校舎はどうなるの？

A 建て替えはせず、今の校舎をこれまでどおりに使います。

Q 子どもたちにはどんな効果があるの？

- A ① 子どもたちの成長を見通した教科の指導をすることで、子どもたちのやる気を引き出し、学習面での理解を深めます。
② 小学校から中学校へ進学するときに、新しい生活になじみやすくなります。
(中 1 ギャップの緩和)
③ 異学年との交流を通じて、思いやりの心やリーダーシップが育成されます。
(自己肯定感の向上)

Q 小学 6 年生の次は 7 年生になるの？

A 学年は今までと同じく、小学校は 6 年生、中学校は 3 年生までです。学年の枠組みは変えずに小学校入学から中学校卒業までの 9 年間を見通した教育をします。

Q 地域にはどんな効果があるの？

A 地域の協力を得ながら、学校の特色や独自性に加えて同じ目標に向かうことで、子どもたちの地域に対する誇りや愛情が育まれ、地域の活性化につながります。



江別市奨学資金

経済的な理由で高等学校の修学が困難な高校生に、就学資金の一部を貸与します。

- 応募期間…4月1日(金)～28日(木)
※期間終了後に必要になった場合は要相談
- 応募要件…前年度の成績評定が5段階評価で3.0以上の方 ※1年生は中学校の全成績、2年生以上は前年度の成績の平均値

- 応募書類…教育委員会ホームページ、市内高校在学者は学校から入手可
- 募集人数…若干名
- 貸与額…(公立)月8千円、(私立)月1万8千円
- 貸与期間…1年間(翌年度も申請により可)
- 返還方法…貸与期間終了後、10年間で返還(無利子)

(詳細) 学校教育課 ☎ 381-1058